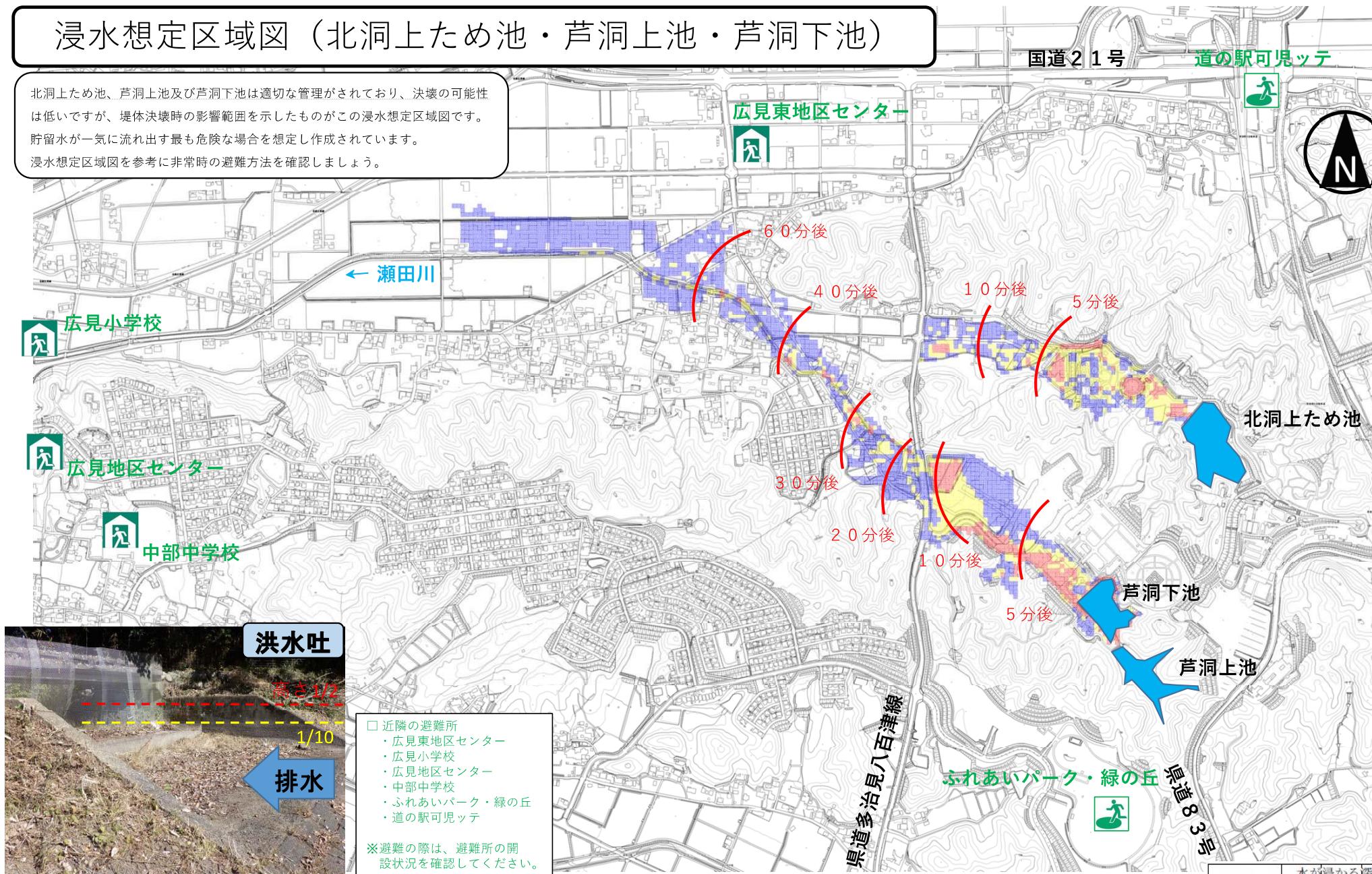


浸水想定区域図（北洞上ため池・芦洞上池・芦洞下池）

北洞上ため池、芦洞上池及び芦洞下池は適切な管理がされており、決壊の可能性は低いですが、堤体決壊時の影響範囲を示したものがこの浸水想定区域図です。
貯留水が一気に流れ出す最も危険な場合を想定し作成されています。
浸水想定区域図を参考に非常時の避難方法を確認しましょう。



洪水吐

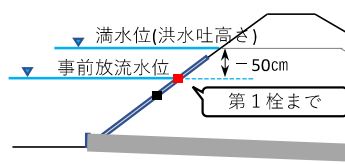
排水

- 近隣の避難所
- ・ 広見東地区センター
 - ・ 広見小学校
 - ・ 広見地区センター
 - ・ 中部中学校
 - ・ ふれあいパーク・緑の丘
 - ・ 道の駅可児ッテ

※避難の際は、避難所の開設状況を確認してください。

ため池管理水位

大雨・台風予報時(かんがい期(5月～9月))



芦洞上池において、低水位管理を行うことで地震による決壊被害を小さくできます。
大雨や台風通過が予測される時には、事前に管理水位を確認しておくことで越水や決壊のリスクを小さくできます。

北洞上ため池・芦洞上池・芦原下池 管理状況		ため池上流域について	
・ 草刈り：年2回 ・ 草刈り時に堤体及び施設の点検（ため池管理アプリや点検チェックシートによる） ・ 管理水位：左記による（芦洞上池）		ため池は山間部の谷に位置しているため、上流からの土砂流入に注意する必要があります。また、浸水想定区域の一部において、土砂災害特別警戒区域と重なっているエリアがあるため注意が必要です。	
		歩行困難度判定	水が浸かる深さ
		遅い ↑ 0.5m/s ↓ 1.0m/s 速い	浅い ← 0.5m → 深い 1.0m
		可能	危険
		困難	